

全校の力ってすごい

11月読書旬間、避難訓練、修学旅行、まちゼミ（低学年）など、多くの行事等が行われました。それぞれの取組に子どもたちの成長が見られ、お互いに学び合う姿がたくさん見られました。

「心に太陽を」第8号では、「校長先生のお話(11/6)」「まちゼミ（低学年）」についてお知らせいたします。

森泉雄二校長先生の講話 「子どもが創る運動会 全校の力ってすごい」

11月に入りました。葉っぱの上が白く凍る霜が降るので、「霜月」とも言います。運動会の頃はみんな半袖半ズボンだったのに、最近では手袋をして登校してくる友だちもいます。児童玄関前の楓も見事に真っ赤、秋も終わりに近づいています。いよいよ明日から寒くなるそうです。暖かい服を用意してくださいね。

さて、今日は、20日ほど前に行われた運動会を振り返ってみたいと思います。真っ青な空、天気にも恵まれた日になりました。『挑戦～一人ひとりが全力の花を咲かせよう』のテーマに向かい、挑戦を続けたみんな。素敵な運動会になりました。一生懸命走り、歯を食いしばって力を競い、友だちと心を合わせて踊ったり表現したりした姿が、今も鮮やかに思い出されます。かけっこが終わった段階では、白組が6点のリード。白組強かったね。でも、このあと赤組もあきらめなくてよく追いつきました。本当にいい勝負、見ごたえのある闘いでした。そして、「子どもが創る運動会」を目指して、今年は4年目。運動会の開会式と閉会式は児童会三役さんが立派に進行し、各学年の代表の皆さんが自分の願いや挑戦を発表してくれました。原稿も見ずに堂々と発表できていましたよ。また、各種目の初めにかけ声を出したり、競技中に指示を出したり全力でぶつかったり、みんなが生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができました。



さて、校長先生がこの運動会で心に残った3つのことをお話ししたいと思います。1つ目は、5、6年生の係活動「TOS(チャレンジ思い合いスタッフ)」です。これ(左写真)は、かけっこゴールに立つ「号砲審判」の皆さんです。6つもかけっこが続き、きつくとくただったと思いますが、集中して下級生を見守っています。これ(右写真)は、かけっこが終わった友だちを整列場所まで連れて行ってあげるお兄さんお姉さんです。背中に回した手。素敵な手だなあと感じます。「がんばったね」

「おめでとう」といった言葉も添えてくれていたそうです。まさに「思い合いスタッフ」。校長先生が大好きな写真です。6年生の係活動の感想を紹介します。

去年もアナウンスだったけど、声が小さくてぜんぜん届きませんでした。でも今年は、「明るく大きな声で話さない、1年生は楽しくないかな」と思って大きく、明るく話すことを心がけました。みんなから「声、よく聞こえたよ」って言ってもらえてすごくうれしかった。がんばった甲斐があったなと思いました。全力でやるってすごくよいことだと思いました。

最後に、「全力でやるって…」という言葉がありますが、がんばった人にしか感じられない、分からない言葉なんだらうな。全力でやるって「すごくよいこと」、全力でやるって「気持ちがいい」、全力でやると「自分を大きく成長させてくれる」、全力は「人の心に突き刺さる」。全力で取り組んだみんなは、何を感じ、何を学び、何を心に残しただらう。学校の行事は、みんなの中に節をつくってくれていると感じます。

2つ目は、「応援団」。毎年、「応援団になりたい」と立候補する人が大勢います。立ち姿も表情も本当にかっこいいね。応援団は下級生の憧れです。

今年の運動会はいろいろなことに挑戦しようと思って、勇気を出して応援団に立候補しました。最初は本当に不安で、「やっぱりやめようかな」と考えたこともありました。でも、そこでやめたら挑戦じゃない、だからがんばりました。開会式の時は団長が声を出してくれたけれど、かけこや玉入れなどの応援では、他の団員が応援団長の役割をするので、すごく緊張しました。私の出番が来て私が声を出すと、みんなが続いて応援してくれたのでうれしかったです。最高の運動会になりました。

自分もいつか応援団に入りたいと思う人はいますか(たくさんいますね)。応援団は、全校のみんなの挑戦を全力で支えてくれました。応援団の皆さん、ありがとう。



最後3つ目は、5、6年生の「組表現」です。この写真は全てが終わり退場する場面。5、6年生の「やりきったぞ」という思いが、喜びいっぱいの表情と飛び跳ねるような走りにあふれ出ていました。演技している時と違う、柔らかな表情でした。目も腕も体もピツとまっすぐ。きっと5、6年生の心がピツとしているんだね。



- 最初は運動会がめんどくさいと思っていたけれど、練習をしていくうちに自分の表現を誰かに見てほしくなって運動会が楽しみになりました。
- 組表現の時、自分はかっこよく胸を張って踊れるか不安でした。だけど、みんな同じ気持ちだと考えて、目の前にある自分がやらなくてはならないことをやっていたら、自然に気持ちが落ち着いて、堂々と組み表現を踊りきることができました。気がついたら終わっていて、最初の自分を信じて堂々とできてよかったなと心がほっとしました。
- フラッグと組み体操は、3週間前から練習をしてきて、すごいがんばってきました。旗の先をしっかりと見て、指先まで力を入れてやりました。途中、音楽が聞こえなくなることがあったけど、それでもみんなが動きを止めないでできたのは、がんばって練習してきたからかなと思いました。

一人ひとりが「ひとりになって」集中し、真剣に心を込めて、全力で取り組みました。がんばった自分は、いつしか信じられる自分になり、頑張ってきた演技はぜひ見てほしいと思える演技に高まるんだろうね。そして、それを自分だけでなく、みんなにも感じている。素敵な仲間です。一人一人が「ひとりになれる」集団は、「ひとつになれる」集団へと高まっていくのでしょう。

- 組表現の時に曲が聞こえなくなったとき、だれかが歌ってくれてすごうれしかったし、6年生がいなくても心配ないなと思いました。
- 組表現の時に、途中で音が途切れてしまうというハプニングがありました。そんなときに、全校の人たち（1年生から4年生や先生方）が歌ってくれました。私は感動しました。退場するときは達成感をとても感じました。係席に戻った後、うれしくて涙が出ました。今年の運動会で一番心に残りました。私は全校が思いやりの花を咲かせてくれて、とてもうれしかったです。全校の力ってすごいです。全校の力ってすごいです。



6年生は何人も「音が消えた」ことを書いています。だけど、このピンチを5、6年生は自分たちが練習で培った力と全校のみんなの支えて乗り越えました。2人の6年生が下級生に贈ってくれた「6年生がいなくてもこれからの岩村田小学校は大丈夫」と「全校が思いやりの花を咲かせてくれた。とてもうれしかった。全校の力ってすごいな」という言葉、みんなで大事にしていきたいなって校長先生は思いました。

6年生の姿、心に残しておきたいです。みんなで創った運動会、今年の大事な思い出の1ページとなりました。

まちゼミ(低学年)が行われました

21日(木)に、まちゼミ(低学年)が行われました。今回は、PTA学年部の皆さんが企画し、PTA役員の皆様を中心に運営していただきました。高学年とは少し趣向を変え、物づくりを中心とした10講座を開設しました。どの講座もできたものを自慢げに見せてくれたり、作ったもので楽しそうに遊んだりする姿が見られました。オリジナルの作品が作れたこと、講師の方やPTAの皆様と触れ合うことで「また作ってみたい」「誰かに教えてみたい」という気持ちをもった子もいました。12月に校内でアウトプットデーを企画しているので、そこで発表することも期待したくなりました。PTA役員の皆様、ありがとうございました。



今後の主な予定

<12月>

- 2日(月) なかよし楓月間(～20日)
- 3日(火) 支部子ども会
- 6日(金) 全校参観日・人権同和教育講演会
- 9日(月) 楓ウイーク(～13日)
スケート教室(3年)
- 10日(火) スケート教室(2年)
- 11日(水) スケート教室(1年)
- 20日(金) 学期末清掃(～26日)
浅間中学校区アウトプットデー(全校3時間)
- 26日(木) 2学期終業式
- 27日(金) 年末年始休業(～1/7)

<1月>

- 8日(水) 3学期始業式
- 16日(木) PTA理事会
- 23日(木) PTA代議員会
- 24日(金) スキー教室(4～6年)
- 28日(火) 全校4時間授業
浅間中学校保護者説明会
- 30日(木) 来入見交流会・保護者会

